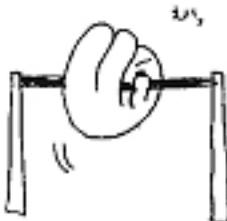


# たたかえ！ ヒガシヤマン

round 41



必殺!!

逆あがり!!

©大畠栄里

ヒガシヤマンの返し技

## 【必殺！！逆あがり！！】

東山に集う人々が若者ばかりだということが、辛くなるときもある。このセンターにひそかに存在するキャラクターとして愛されている僕が実はかなりのおっさんだなんて知ったら、彼らはきっとがっかりするだろう。今日聞いた番長くんの言っていることが8割方わからなかつたなんて誰にも言えやしない。フィールド、ATK、DEF……一体何のことだ。経済用語だろうか。検索したいけど僕はパソコンもスマホも持っていない。今度所長に相談してみようか。所長には確か麻雀の（以下略）  
<ヒガシヤマンの日記より>



## 番長 —Keynoteくん— 音

### 【必殺技】アカペラ族・効果

このモンスターが召喚・特殊召喚に成功したとき、フィールド上に表側表示で存在するモンスターを一体破壊する。

ATK/800 DEF/600

### 【考案者】Keynote 影のリーダー かねだ まさあき

遊戲王を5歳で始めて、はや14年…。  
今ではアカペラグループKeynote内Top of Singerに。  
『僕と歌いたい人は、ぜひKeynoteへ。どんな方でも大歓迎さ。』

東山青少年活動センターにひそかに存在するキャラクター・ヒガシヤマン。彼は今月もまわっている！「逆あがりは特に関係ない！関係ないんだ！！！」技のネタ切れが深刻だ。  
がんばれ、ヒガシヤマン！！

文：筒井加寿子

# ヒガシ ガシ

VOL.  
**41**

2014 SPRING



- 01**・たたかえ!ヒガシヤマン
- 02**・もくじ
- 03**・東山schedule
- 05**・[特集]東山再発見
- 08**・ヒガシヤマQ&A
- 09**・ワークショップななめ読み
- 10**・おも検／季節のイラスト
- 11**・ステージサポートプラン
- 13**・Higashiyama Youth

空腹を充たすために食べるスナック菓子のように、  
東山の情報もかじってほしい。  
ヒガシ(干菓子)のイメージからくる季節感や彩りも  
添えて。ヒガシガシは、そんな情報誌です。



イラスト 中井 友香【京都造形芸術大学】

# 東山schedule 2014

## ① 工作室開放「ヒガシヤマD E ものづくり」

	4月	5月	6月	
1	火	木	①	日
2	水	金		月 ③
3	木 ①	土 ①	火	
4	金	日	水	
5	土 ①	月	木 ① ③	
6	日	火	金	
7	月	水	土 ① ④	
8	火 ②	木 ①	日 ④	
9	水	金	月 ③	
10	木 ①	土 ①	火	
11	金	日	水	
12	土 ①	月	木 ① ③	
13	日	火	金	
14	月	水	土 ①	
15	火	木 ① ③	日	
16	水	金	月 ③	
17	木 ①	土 ①	火	
18	金	日	水	
19	土 ①	月	木 ① ③	
20	日	火	金	
21	月 ②	水	土 ①	
22	火	木 ① ③	日 ③	
23	水	金	月 ③	
24	木 ①	土 ①	火	
25	金	日	水	
26	土 ①	月 ③	木 ① ③	
27	日	火	金	
28	月	水	土 ①	
29	火	木 ① ③	日	
30	水	金	月 ③	
31		土 ①		

■は休館日です

創造工作室を使って、陶芸、木工、サンドblastなど、いろいろなものづくりができる空間を提供しています。電動ろくろ、電動糸のこ、ミシン、アイロンなど必要な道具がそろっているので、活用方法は使う人次第。

陶芸については土の量り売りや釉薬提供サービスなどもあり、初心者にもおすすめです。

ものづくりの場として気軽にご利用ください。

日 時：毎週木曜日17:00～21:00と毎週土曜日13:00～18:00

\*木曜日が祝日の場合は開催していません。

\*初回に利用登録が必要です。

定 員：なし

参加費：無料

\*一部有料(陶芸用土、釉薬 他)

申し込み受付：不要



## ② 平成25年度 東山アートスペース作品展

東山アートスペース・月に一度のアトリエ活動は、35名のメンバーと、ナビゲーター、ボランティアがつくる特別な時間。個性豊かな作品の数々を、ぜひご覧ください。

日時：平成26年4月8日(火)～21日(月)

月・火・木・金 8:30～20:00

水 8:30～17:00

土 10:00～20:00

日 10:00～17:00



会場：東山区総合庁舎 1階 展示ホール

### ③演劇ピギナーズユニット2014参加者募集

演劇ピギナーズユニットは、演劇初心者のための講座です。参加した皆さんで、一つの舞台を創りあげます。演劇に興味はあったけどこれまで舞台に立つ機会がなかった、という方や、何か新しいことを始めたい、普段の生活にちょっと物足りなさを感じている方へ。表現の魅力、創る楽しさ、本格的な舞台に立つという貴重な体験ができる、ここに、新しいステージがあります。わたしの好きなわたし、わたしの嫌いなわたし、わたしも知らなかつたわたしにも出会えます。少しだけ勇気を出して、一步踏み出すきっかけにしてください。たくさんの応募をお待ちしています。

講座日程：5月22日(木)～9月4日(木) 全38回

毎週月・木曜日18:00～21:00

第4日曜日15:00～18:00

\*7月21日(月)は15:00～18:00

\*8月26日(火)は18:00～21:00

(講座日程以外に自主練習をする可能性があります)

\*説明会／5月15日(木) 19:00～20:30

\*公演日／8月30日(土)・31日(日)

\*公演準備日／8月29日(金)

募集期間：4月1日(火)～5月12日(月)

参加対象：京都市に在住か在学・在勤の中学生から30歳までの方で、演劇初心者の方、またはそれに準ずると思われる方。

募集定員：17名(応募多数の場合は抽選、定員に満たなかつた場合は、5月13日以降も先着順で受付けます)

参 加 費：30,000円(全38回の講座費用・公演費用一切込)

演 出：村上慎太郎(夕暮れ弱男ユニット/劇作家、演出家、俳優)

申 込 み：京都市東山青少年活動センターへ直接来館、または電話・E-mailにて受け付けます。

公演会場：京都市東山青少年活動センター 創造活動室

共 催：NPO法人京都舞台芸術協会

### ④中劇研「春の合同公演」

中劇研(京都市中学校教育研究会演劇部会)は、京都市内の公立・私立中学校演劇部の集まり。日頃の活動の成果を発表します。

この催しは、「学校と青少年施設の連携」事業として、創活番(青少年ボランティア)の協力で実施します。

日 時：6月7日(土)・8日(日) 入場無料

場 所：京都市東山青少年活動センター  
創造活動室

#### 【①③の事業について】

対象：京都市に在住もしくは在学・在勤されている13歳から30歳までの方

#### 【②④の事業について】

対象：市民

いずれの事業も会場・問い合わせは京都市東山青少年活動センターまで。TEL 075-541-0619

### ヒガシガシ編集スタッフ募集!

年4回、フリーペーパー「ヒガシガシ」の発行に向けて、紙面の構成、取材、編集、印刷、製本作業を行なうスタッフを募集しています。それぞれが得意分野を活かしながら、出会いや発見を大切に活動しています。ぜひ一緒に活動しましょう！

対象：京都市に在住もしくは在学・在勤されている16歳から30歳までの方



# 東山再発見

特集

障がいのある方もない方も、共に音楽を楽しむイベント「スマイルミュージックフェスティバル」。そこでボランティアやメインテーマ曲の作曲をされてる中田憲吾さん。そこでの関わりや音楽に対する考え方や想いを語っていただきました。



演奏家 中田 憲吾さん

●――プロフィールと現在の活動などを教えてください。

中田憲吾です。色々な活動をしていますが、1つに音楽を使ったボランティアを音の風というNPOでしています。様々な年齢、ジャンルの人たちやプロやアマチュアの方と音楽イベントをしたり、福祉系のことや、町のお祭り、裏方のPA(音響関係)などの作業をしています。いろんな生活スタイルの人と1つのプロジェクトをすることはおもしろいと思って活動しています。

●――活動の中では、どんな役割を担っておられますか？

障がいを持った方と半年から1年かけて、練習し、舞台に上ることをしています。それと、PAの舞台周りの裏方や、体操のお兄さんをやってみたり、普段はギターを持って伴奏しに行ったりもしています。

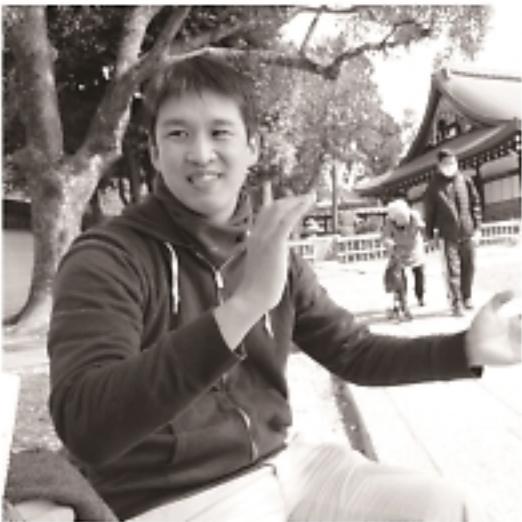
あと、ここ10年ぐらい、アフリカの太鼓とダンスを勉強しているので、それを活かして、太鼓やダンスを福祉作業所の方たちとやってみることもあります。

●――音楽を始めたきっかけは？

母親がエレクトーンをやっていたのを聴いていたのが、きっかけかもしれないんですけど、自分から意識してやり始めたのは、中学生くらいからギターを弾き始めたのが最初です。それは単純に興味があったから始めました。それから高校から現在までバンド活動もしています。

●――アフリカの音楽を始めたきっかけは？

ライブハウスでやるような音楽も好きだったんですけど、発表形式の音楽に物足りなさを感じていて。ガチャッとした音楽をやりたかったんです。そんな音楽ができたらいいなと思っているときに、仕事関係で受けていた講座で、余興をしに来てくださった団体があって、その人たちの音楽



がまさに僕がやりたかった感じの音楽で、これはおもしろいなと思ったんです。そこから、勉強を始めたんですが、向こうに行くのにお金もかかるし、言葉も難しいし、苦労しています(笑)。

●—どれくらい勉強したんですか？

僕は勉強というか、楽しみにやっているんです。最初、太鼓を習いたくて始めたんですけど、途中から太鼓を教えてもらえる人が亡くなられたこともあって、ダンスを教えてもらうようになりました。

●—ボランティアなどで演奏する曲は既存の曲ですか？

既存の曲も多いんですけど、たまに曲をつくったりします。

●—作曲はいつぐらいから？

作曲は適当じゃないですかね(笑)。音大の人がちゃんと理論構築して作るんじゃないので。たとえば、幼稚園の時にあんなの歌ってたなって言われることないですか？僕なら扇風機の歌なんですけど。「扇風機～扇風機～扇風機～♪」ってだけのことなんんですけど。今もそんなレベルですよ。そこからセンテンスは長くなったり、バランス調整はしますけどね。

●—曲はバッと思いつくものですか？

いや。曲によりますね。僕は曲をつくることには執着がなく、人の曲を演奏することには抵抗がないですし。そういう意味で、表現者というよりミュージシャンと言

われる方が好きなんです。どちらかというと、音楽を演奏することやみんなでその場をつくることに執着がありますね。

●—みんなで場をつくるとは？

場の空気が一体になるときあるじゃないですか。そういう感じです。

その感じをずっと探しています。ただ、そこに行く過程で、自分で曲をつくる必要があれば、作りますし、必要がなければなかなか作れません。

●—活動の中でのつらいことは？

つらいことは日程調整ですね。みんな社会人ですから時間が合わないんです。だけど、みんな、やりたい気持ちはありますし、自分が誘われる時も、どうやって時間つくろうかと考えます。

僕たちは、プロのミュージシャンじゃないんです。でも、アマチュアにしか出せない音があると思うんです。音楽と生活が補完し合っている、そういう感じが好きなんです。確かに、プロじゃないとできないことがあります。プロのどこでもこのレベルでやるんだという安定感には感心しますし、それに向かって費やしてる人じゃないと出ない音とか表現がある。一方、僕らはそんなに時間が使えないし、頭の中で鳴っている音を100%アウトプットできないこともあります。でも、それもまたいいじゃな



いかと。それは言い訳じゃなくて、いろんな人がいろんな仕事や生活をしてる傍らで、音楽をすることに意味があると思っているからです。でもただただ、日程調整が難しいです(笑)。

●—逆に一番面白いことは?

知的な障がいを持った方の事業所に行くんですけど、そこでは同じ曲を緩くやったりするんですけど、そういった日常の傍らにある音楽はいいなと思います。

自分の中のテーマとしては「グルーヴ」と「日常の傍らの音楽」っていうのがあるんです。

日常の中にある音楽。もちろん内容は、リクエストなどで変わってきますけど、同じようなことをずっとやらせてもらうことで見えてくるものもあって、舞台に出るよりも練習に面白味を感じます。よろしくお願ひしますってところから、こっちを理解してもらって、一緒に舞台に上がりましょうって、一緒にやっていくのがおもしろいですね。

●—活動の中で大切にしていることは?

僕はボランティアしているというより、おもしろい音楽しに行っているっていう感覚です。例えば、知的な障がいを持っている人たちは、すごく反応がダイレクトな方が多いと感じます。向こうから求めてくれることも多いですし、みんなが求めているものを適合させることができた場合はやっぱり、一体感を得られることもあります。

●—先ほど話されていた「日常の傍らの音楽」とは、どういった意味ですか?

商業音楽と圧倒的にちがいますよね。アフリカの音楽やアイリッシュの方がバブで奏でる音楽やダンスなど、あの人は自分たちの生活を豊かにするために、うまいこと生活に音楽を取り入れています。そういう生活の隣にあるような音楽を「日常の傍らの音楽」だと思っています。

例えば、アフリカでは、成人したときも、赤ちゃんが生

まれたときも、精神的にへこんでいるときも、音楽が使われるそうです。それが全部生活とセットになっていて、今の日本では考えられないような使われ方をしているんです。

自分の身近な人や身近な場所で、そういう音楽が入ってくるのはいいなと思っています。

●—今後の展望をおしえてください。

今の活動はおもしろいので、続けられることは続けていきたい。特に、アフリカの音楽はもっと誰か教えてもらいたいぐらいおもしろいです。

太鼓もダンスも技術を極めるという感じではないかもしませんが、文化を理解して、いろんな人と共有して、日本の生活で生かせるような自分なりのパッケージにできたらいいなと思いますね。

たとえば、月に1回でも、みんなで集まって、バンッと踊って、汗かいて、リフレッシュして帰るっていう、そういう「日常の傍らにある音楽」を形にしていきたい。夢みたいな話ですが、実現したいですね。

●—ありがとうございました。



取材/編集:鈴木けい

# ヒガシヤマ Q&A

## Q. 「究極の選択！ 夢と愛どちらが大切ですか？」

春といえば恋の季節！！ そして、進学や就職など夢に向かって一步踏み出す季節でもあります。そんな時期だからこそ、愛や夢について選択を迫られることもあるのではないでしょうか？

そこで、今回のQ&Aでは、どちらも選べない！！そんな究極の選択について聞いてみたいと思います。

### A. 愛

愛があれば生きていけると思います。

名無し（？才 男性）

——恋人が食べさせてくれるならそれ以外何もいりませんね！

### A. 夢

夢は自分が諦めない限り、実現させることができるッ…！

イズタ（？才 男性）

——ですね！現実にしましょー

A. 強いて言うなら愛だけど愛より金が好きです。

特になし

希望（14才 女性）

——お金も愛してます！

### A. 夢

いろんな夢を考えることができるから。

カバ次朗（13才 女性）

——まさに無限大！洗濯物を干す夢を見るのはもつたいないですね。

### A. 夢

愛は妹の名前。妹はいらない。夢がほしい。

風の谷のポニヨ（23才 男性）

——では魚を削って「夢」名付けてみますか。

A. 食べ物です。（ドヤア）

死ぬから（ドヤ）

咲龍（13才 女性）

——もぐもぐ！をしかにそうですね。

### A. 愛

すべての究極の目的は愛につながるから。

すけちゃん（19才 女性）

——深いですね。

### A. 希望

いいと思ったから。

トリンドル彩菜（15才 女性）

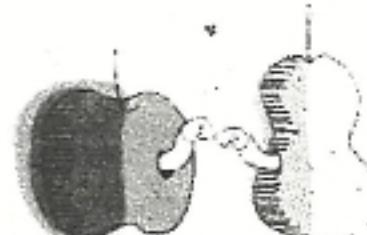
——良いですね！

### A. 夢

現実逃避できるから

はしやん（13才 女性）

——できますね。この間見た、警察から逃げる夢は楽しかつたです。



# work shop



## ●概要

### 陶芸ワークショップ

#### 「春まちセットをつくろう」

“体験だけじゃない。しっかりつくる、しっかり学ぶ、陶芸まるごとを楽しむこと。”をコンセプトに開催された陶芸ワークショップ。手びねり・たたら・削り・釉薬といった陶芸の基礎の内容を全4回で体験し、「これから訪れる春を楽しむ」をテーマに、湯のみや酒器、菓子皿などをつくりました。

【日時】2月21日～3月14日(毎火曜日／全4回)  
19:00～21:00

【参加人数】10名

【ナビゲーター】東 好美(陶芸作家)

【参加費】4,000円(材料費込み)

【場所】東山青少年活動センター／創造工作室

## 参加者の感想

- ・先生がとてもうまく教えてくださって、楽しく、よくわかり、よく学べる…でした。
- ・土を自分でこねて、作品を作るのは楽しかった。
- ・参加者の方々と仲良くなれた。
- ・自分自身の物作りに対する気持ちがよみがえった。
- ・初めて陶芸に触れて、初めてのことばかりで楽しかったです。

“春まちセット”というテーマで、みなさん思い思いの器をつくりされました。

知らない者同士、机を囲み、土を触りながら、話をする。

不思議と作品に人柄が現れてくるもので、自然に本当の自分で人に逢うことができる。

頑張りすぎないでいいところが、陶芸のすてきなところだと、あらためて感じていました。

(ナビゲーター 東好美)



# おも検、



ヒガシガシのボランティアが、ちょっと気になる噂を検証する、おもしろ検証コーナーです。♪

## テーマ：平安楽市に潜入取材!!!!

京都市内3か所で行われている手づくり市。

どんなお店があるか気になる！！ということで。

その中でも、東山に程近い「平安楽市」に行ってきました。



**平安楽市～hei-an-raku-ichi～**  
2012年9月よりスタートした手づくり市(手づくり作品に限定したお店が立ちならびます)。  
プロ・アマ問わず、個性豊かなお店や気軽に手づくりの魅力に触れていただけるワークショップなどを設けている手づくり市です。

«開催日»毎月第2土曜日定期開催(雨天決行)

«時間»10:00～16:00

«場所»京都市左京区 岡崎公園



絵、アクセサリー、パン、お菓子等想像より幅広い手づくりものが揃っていました。店には売っていないような個性的なものが多くてプレゼントを買うには最適です。

みなさんはとても話しやすく、気になったものについて気軽に話してくれます。見に行くだけでも楽しめますが、私は可愛いピアスをゲットしました！

●検証・編集：ヒガシガシボランティア

## 季節のイラスト

### テーマ：「新学期・新生活の不安から守ってくれる

### 自分の守り神をイラストにすると？

春から気持ちを一新して新生活スタート！そんな時にも不安はつきものです。日本には昔からあらゆるものに神様が宿るとされていますが、実は私たちの周りにも確かに神様が見守ってくれているのかもしれませんね。



モード	延長証明書	2)
1	25	
2	26	
3	27	
4	28	
5	29	
6	30	
7	31	
8	32	
9	33	
10	34	
11	35	
12	36	
13	37	
14	38	
15	39	
16	40	
17	41	
18	42	
19	43	
20	44	
21	45	
22	46	
23	47	
24	48	
25	49	
26	50	
27	51	
28	52	
29	53	
30	54	
31	55	
32	56	
33	57	
34	58	
35	59	
36	60	
37	61	
38	62	
39	63	
40	64	
41	65	
42	66	
43	67	
44	68	
45	69	
46	70	
47	71	
48	72	
49	73	
50	74	
51	75	
52	76	
53	77	
54	78	
55	79	
56	80	
57	81	
58	82	
59	83	
60	84	
61	85	
62	86	
63	87	
64	88	
65	89	
66	90	
67	91	
68	92	
69	93	
70	94	
71	95	
72	96	
73	97	
74	98	
75	99	
76	100	
77	101	
78	102	
79	103	
80	104	
81	105	
82	106	
83	107	
84	108	
85	109	
86	110	
87	111	
88	112	
89	113	
90	114	
91	115	
92	116	
93	117	
94	118	
95	119	
96	120	
97	121	
98	122	
99	123	
100	124	

このコーナーでは、テーマにそったイラストを募集し、いくつかの作品を紹介しています。

●編集：水野 里織



# STAGE SUPPORT PLAN

ステージサポートプラン

4月～6月

東山青少年活動センターが自主公演の支援をします。初心者から経験者まで、いろんな人たちに東山にある創造活動室を利用してほしい。だから次のようなグループの公演を応援しています。

- ① First Trial (活動経験の浅い人たち)
- ② チャレンジ! (何か新しいことに挑戦しようという人たち)
- ③ 東山のおススメ! (京都を中心にがんばって活動している人たち)

★詳しいことのお問い合わせは→東山青少年活動センターへ

<http://ys-kyoto.org/higashiyama>

HPでも  
ご覗けます。

## 応募方法

- \*応募には……… まず、担当者にご相談ください。
- \*企画書の提出(公演希望日、公演内容やセンターで公演をしてみたい理由を書いてください)
- \*申込・締切り… 公演しようとする月の4ヵ月前の20日まで
- \*個別面談……… 応募された全てのグループと面談(応募締切日より10日以内)
- \*決定…………… 東山青少年活動センタースタッフとボランティアで選考の上、支援公演を行っていただけるグループを決定(公演しようとする月の4ヵ月前の月の末日)。



## 創活番ボランティア募集中!

「創活番」とはステージサポートプランのお手伝いをするボランティアチームです。この度、新メンバーを募集しています。何か新しいことを始めてみたいと思っている方におすすめです。照明や音響、舞台の知識も身につきます。詳しくはお問い合わせください!



## ■ Juggling Unit ピントクル

### 「秘密基地」

ジャグリングを中心としたオムニバス作品。ボール・クラブを使った正統的ジャグリングから、本・アルミ缶を使った刺激的なジャグリングまで。

[HP]<http://juggling-pintcle.com>

5/4(日)14:00

5(月)14:00

6(火)14:00

入場 500円

○お問い合わせ…

[juggling.pintcle@gmail.com](mailto:juggling.pintcle@gmail.com)

# よくわからない がなんか 言いたいのは わかった

2013年初公演感想

## ■「Be」再公演プログラム

### 「Be」

18歳の魔法使いが覚えたての魔法の言葉をこの本に記した。

去年公演で御蔵入り予定だったネガティブ虚構舞台「Be」

どうやら蔵に鍵をかけ忘れたらしい。

6/14(土)14:00／18:00

15(日)11:00

入場 カンパ制

○お問い合わせ…

09077505614

kawaichan.789@gmail.com

※すべての演劇公演の開場は開演時間の30分前です。

## 東山青少年活動センターでボランティア活動してみませんか？

### ●アートサポートボランティア

知的な障がいのある青少年のアトリエ活動をサポート。余暇活動の充実や社会参加を目指します。

活動日：日曜日（月1～2回）10:00～18:00

活動事業：東山アートスペース

対象：16歳から30歳までの方

### ●表現サポートボランティア

知的な障がいのある青少年のからだを使ったコミュニケーションや表現活動をサポート。余暇活動の充実を目指します。

活動日：土曜日（月2回）13:00～17:00

活動事業：表現活動へのお誘い～からだではなそう～

対象：16歳から30歳までの方

### ●居場所づくりボランティア

中学生、又は高校生を対象にした居場所事業のサポート。クレイアニメ制作などを通じた、青少年の「居場所」をつくりを行います。人と人とのつなぐ役割を担います。

活動日：月に1～2回 12:30～16:00（随時、ご案内します。）

活動事業：東山コトハジメ

対象：18歳から30歳までの方

何かしたいけど、どんな活動がいいのかわからない・迷っているという方もお気軽にお問い合わせください。

# Higashiyama Youth

東山センターを利用している青少年にインタビュー

今回、お話を伺ったのは、「月面クロワッサン」で脚本や演出を手掛けられている作道雄さん。新しく始まるドラマについて詳しくお話ししていただきました。

2011年に旗揚げされた「月面クロワッサン」。舞台だけではなく、映像作品でも活躍されている、今注目の劇団です。

——月面クロワッサンのプロフィールを教えてください。  
作道 約3年活動しており、現在、メンバーは7～8名です。名前の由来は「劇団」に似たような響きを考えた結果「月面」というのがゴロ的に似通っており、覚えてもらいやすいかなと。あとは、クロワッサンがフランス語で三日月という意味があり、ちょうど月が好きだったということ。さらに「月クロ」って言ってもらえるかもしれないと期待もあり、決まった記憶がありますね。

——はじめたきっかけを教えてください。

作道 演劇と映像の両方をやりたくて、大学に入りましたが、両方している団体はなかったので、学生劇団と学生の映像サークルの2つに入りました。その際、自分のしたいことがどんどん出てきて、自分で両方する団体を作った方がいいと思い、両方の仲間、さらに人脈があったので、その仲間に声をかけて作ったのがきっかけです。

また、京都学生演劇祭というのがあり、この第1回大会が開かれるという噂を聞きつけ、そこで最初の公演をやろうと思ったんです。新しく作る劇団だったので、知名度はなかったですが、京都学生演劇祭で初めて作品を発表したら、少しあは広がるかなと思い、そのタイミングに合わせて作りました。

——これまでと現在の活動内容を教えてください。

作道 演劇と映像活動の両方を進めていますが、これま

ではわりと演劇をメインで活動しており、京都と大阪で本公演を年2本ぐらいのペースで上演をしてきました。ちょうど1年半ぐらいから映像の方にも力を入れ始めたのですが、その頃に、KBS京都の懇意にさせていただいているプロデューサーの方から、「一緒に番組をつくりませんか?」とお声がかかり、去年の夏2013年の7月から9月の3か月間KBS京都でドラマ「ノスタルジア」を放送しました。現在は、今年の4月から、第2弾の新しいドラマを放送させていただくことになり、その製作と準備をしています。

——ドラマの見どころは?

作道 テレビドラマは、知名度のあるキャストが演じられるのに注目がいくことが多いと思います。だからこそ、視聴者が知らない役者さんであったり、知らないスタッフが作っているものを見ることで、知らない人しか出でないが、お話を集中できるといった、普段とは違う連ドラを見る体験をするということに、1番魅力を感じ取っていただけたらと思っています。

——「ノスタルジア」の反響はどうでしたか?

作道 ノスタルジアは数万人の視聴者の方々に見ていただきました。特に10代20代といった若い層に見ていただいて、気持ちが変わりました。ようやく社会と繋がれたというか。ものづくりをしているときには葛藤があり、これは誰にも要求されていないことをやっているのではないか、社会的に需要がないのでは?など…1番ストレスになります。でも、視聴者のみなさんの反響やその後お仕事くださるようになった方と関係ができるくると、「これは社会と繋がっているぞ!」となります。これはとても怖いことだけど、とても大事なことだと感じました。



——今日はどのような作品ですか？

作道 今回は短編集です。前回は通して全部見ないと完結しなかったのですが、今回は1話完結で、毎回話が変わります。オムニバスみたいな感じと思ってもらえば、放送時間も30分弱なので、ちょっと退屈してるなって時に「あのドラマ録画していたから見よう」と気軽に見ていただけるんじやないかと思います。

——センターではどんなことをしていますか？

作道 劇団として旗あげてから稽古場として、ずっと3年間使用しています。今回のドラマに関してはセンター内のお部屋を撮影で使わせていただきました。あと、1日だけのバラエティー公演というものを年に1、2回やらせていただいているが、その会場としても使わせていただきました。なので、稽古から撮影、本番までフル活用させていただいております。

——作道さんにとって活動時間とは？

作道 公私の全てです。もちろん、ものつくっているときやお仕事しているときが公の部分ですが、自分のプライベートな時間もずっとものづくりのことを考えていて苦痛ではないので、今の自分にとってすごく楽しい状況です。

——脚本を書く発想力はどこから生まれるのですか？

作道 現在、一番気になっている物事に対する自分の感情が基本的に土台となります。イライラや不満などの感情をずっと腹の中に据えておいて、次にそれとはまったく別に話の設定だけ考える。

たとえば、次のドラマでは人生の満足度を瞬時に計測できる機械を開発して、自殺を防ぐという話です。人生の満足度を瞬時に計測できる機械があったら面白いの



になっていて。自分の感情と話の設定は初めはバラバラですが、重ね合わせると物語が生まれます。

——今後の目標を教えて下さい。

作道 1番はドラマの面白味をできる限り、京都や大阪の関西以外の頼むくは全国にいる方にも、少しでも届けばいいなと思います。今回のドラマは1話と2話だけをYoutubeにアップロードします。全国どこにいてもフリーチャージで、しかもローカルな番組が見られるっていうのは、割と新しい取り組みができると思っています。その波に乗り、知名度のない役者が出ていても、できるだけ多くの方に「京都でこんな変わった団体が新しいことをしてます！」とか「こういうドラマがあつてもいいな」「話が面白い」と感じてほしいです。全国の皆さんに注目してもらって、それが僕たちにとって新しい活動や仕事につながっていくような今後になればいいなと考えています。

——ありがとうございました。

【月面クロワッサンHP】 <http://getsukuro.halfmoon.jp/>

【テレビドラマ】 KBS 京都

月面クロワッサンの連続ドラマ2「ショート・ショウ」

2014年4月11日(金)～、毎週金曜日23時半～24時で放送。

取材/編集:森野 裕子

